

関東森林管理局入札等監視委員会審議概要

(ホームページ掲載日:平成 26年3月25日)

| | | | | | | | |
|----------------------|---|--|-------------|--|-----------|-----|-----|
| 開催日及び場所 | | 平成26年3月14日(金) 関東森林管理局 2階小会議室 | | | | | |
| 委員 | | 紺 正行 (委員長・弁護士) 大泉 寛 (税理士) 松坂 秀幸 (ジャーナリスト) | | | | | |
| 審議対象期間 | | 平成25年10月1日～12月31日 | | | | | |
| 審議対象案件 | | 103 件 | うち、1者応札案件 | 38 件 | | | |
| | | 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1 件 | | | | | |
| 抽出案件 | | 8 件 | うち、1者応札案件 | 1 件 | | | |
| | | (抽出率 7.8%) (抽出率 2.6%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0 件 (抽出率 0.0%) | | | | | |
| 抽出案件内訳 | 工事 | 一般競争 | | 2 件 | うち 1者応札 | 0 件 | |
| | | 契約の相手方が公益社団法人等の案件 | | | | | 0 件 |
| | | 指名競争 | 公募型指名競争 | 該当なし | | | |
| | | | 工事希望型競争 | 該当なし | | | |
| | その他の指名競争 | | 該当なし | | | | |
| | 随意契約 | | 0 件 | | | | |
| | 業務 | 一般競争 | | 2 件 | うち、1者応札案件 | 0 件 | |
| | | 契約の相手方が公益社団法人等の案件 | | | | | 0 件 |
| | | 指名競争 | 公募型競争 | 該当なし | | | |
| | | | 簡易公募型競争 | 該当なし | | | |
| | | | その他の指名競争 | 該当なし | | | |
| | | 随意契約 | 公募型プロポーザル | 該当なし | | | |
| | | | 簡易公募型プロポーザル | 該当なし | | | |
| | | | 標準型プロポーザル | 該当なし | | | |
| | その他の随意契約 | | 0 件 | | | | |
| | 物品・役務等 | 一般競争 | | 4 件 | うち、1者応札案件 | 1 件 | |
| | | 契約の相手方が公益社団法人等の案件 | | | | | 0 件 |
| | | 指名競争 | | 該当なし | | | |
| 随意契約(企画競争・公募) | | 0 件 | | | | | |
| 随意契約(その他) | | 0 件 | | | | | |
| (特記事項) | | | | | | | |
| 委員からの意見・質問、それに対する回答等 | 意見・質問 | | | 回答等 | | | |
| | <p>1. 入札方式について、一般競争入札、一般競争入札(簡易型総合評価落札方式)、一般競争入札(総合評価落札方式)とあるが、それぞれの案件においてどのように入札方式を採用するのか。</p> <p>2. 公共工事の入札で一般管理費の部分を安く見積もる業者が見受けられる。例えば、一般管理費において、業者の見積もりが国の積算の20%であっても問題ないのか。 契約の履行の確実性を確保するために、工種別の内訳において最低価格の基準があるのか。</p> | | | <p>1. 公共工事においては、基本的に予定価格が1千万円以上の案件で簡易型総合評価落札方式による一般競争入札を導入しており、さらに予定価格の金額によって、簡易型A、B、C型があり、異なる評価項目で評価を実施している。予定価格が1千万円未満の工事では通常的一般競争入札となる。</p> <p>2. 低入札価格の基準として、調査基準価格を設定し、この価格を下回った場合には、施工管理等に問題が生じる可能性があるため調査を行うこととしている。調査基準価格と入札額は総額と比較して判断する仕組みである。</p> | | | |

| | | |
|-----------------------------|---|---|
| <p>委員からの意見・質問、それに対する回答等</p> | <p>3. 総合評価落札方式における技術評価の評価項目や配点について、基準が恣意的になっていないか、評価方法を常に見直し、工夫していく必要がある。</p> <p>4. 別の2件のコンサルタント業務の入札に同じ業者が参加しているが、総合評価の技術点が異なっている。</p> <p>5. 生産事業の抽出案件について、3回目の公告入札までなかなか落札に至らなかった原因をどのように考えるか。</p> <p>6. 生産事業の抽出案件について、公告を3回行い落札に至ったということであるが、その場合予定価格は変わらないのか。</p> | <p>3. 林野庁において評価項目の設定例が示されており、それにしたがって評価を行っているところであるが、頂いたご意見を踏まえて検討して参りたい。</p> <p>4. 一方は治山工事に係るコンサルタント業務で、一方は林道工事に係るコンサルタント業務であるため、同種業務の実績や、配置する技術者の実績などが異なり、同じ業者であっても、案件毎に評価点が違ってくる。</p> <p>5. 本案件は、民間競争入札を採用しており、契約期間が複数年と長く事業規模も大きな案件である。長期間事業を確保できるメリットがある反面、事業規模が大きいことで、小規模事業者が参加を躊躇してしまう場合も考えられる。</p> <p>6. 事業期間が短くなることから、公告の都度事業地の見直しを行い、毎回異なる事業規模での発注となるため、予定価格も毎回算出しておいている。</p> |
| <p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p> | <p>特になし</p> | |

関東森林管理局入札等監視委員会苦情処理会議審議概要

| | | | | |
|----------------------|--|----|------|-------|
| 開催日及び場所 | 平成26年3月14日(金) 関東森林管理局2階小会議室 | | | |
| 委員 | 紺 正行(委員長・弁護士) 大泉 寛(税理士) 松坂 秀幸(ジャーナリスト) | | | |
| 再苦情申立概要 | 申立日 | 件名 | 契約方式 | 契約月日 |
| | H . . | | | H . . |
| | 内容等 該当なし | | | |
| 委員からの意見・質問、それに対する回答等 | 意見・質問 | | 回答 | |
| | | | | |
| 委員会による意見の具申又は勧告の内容 | | | | |